



I 第32週の発生動向 (2017/8/7~2017/8/13)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が発令されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。県全体では定点当たり報告数が減少しましたが、引き続き注意が必要です。
2. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均と比較して、かなり多い状態が続いており、特に三戸地方+八戸市保健所管内で定点当たり報告数が多い状態が続いています。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
3. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が、3週連続で過去5年間の平均と比較して、かなり多い状態が続いており、特に三戸地方+八戸市保健所管内とむつ保健所管内で定点当たり報告数が多い状態が続いています。

II 第32週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減															
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																
小児科 内科	インフルエンザ															2	0.03	0												
小児科	RSウイルス感染症															7	0.88	7	0.78	14	1.40			6	1.00	3	0.75	37	0.88	-8
	咽頭結膜熱															1	0.13	4	0.44			3	0.60					8	0.19	4
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															7	0.88	4	0.44	14	1.40	1	0.20	1	0.17			27	0.64	-4
	感染性胃腸炎															16	2.00	14	1.56	14	1.40	14	2.80	11	1.83	20	5.00	89	2.12	-27
	水痘																			2	0.20	2	0.40	1	0.17	1	0.25	6	0.14	-2
	手足口病															42	5.25	52	5.78	26	2.60	54	10.80	53	8.83	25	6.25	252	6.00	-29
	伝染性紅斑																													0
	突発性発しん															1	0.13			8	0.80	2	0.40			2	0.50	13	0.31	-5
	百日咳																							2	0.33			2	0.05	2
	ヘルパンギーナ															19	2.38	10	1.11	6	0.60	13	2.60	6	1.00	13	3.25	67	1.60	-15
流行性耳下腺炎															1	0.13	1	0.11	17	1.70			4	0.67	8	2.00	31	0.74	-3	
眼科	急性出血性結膜炎																			1	0.50			1	0.09	1				
流行性角結膜炎																					1	1.00					1	0.09	0	
基幹	クラミジア肺炎																										0			
	細菌性髄膜炎																							1	1.00	1	0.17	1		
	マイコプラズマ肺炎																					2	2.00			2	0.33	-1		
	無菌性髄膜炎																												0	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)																													0

は警報、 は注意報。「空欄」：患者報告無し。

# 感染症の窓

## 重症熱性血小板減少症候群 (四類全数把握対象疾患) 第2回

### Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) は、SFTS ウイルスを保有するマダニに咬まれることで引き起こされるダニ媒介性感染症です。主な症状は発熱と消化器症状 (食欲低下、嘔吐、下痢、腹痛) で、重症化し死亡することもあります。現在のところ、SFTS ウイルスに対して有効な薬剤やワクチンはありません。

発症はマダニの活動期である 5~8 月の例が多く、西日本を中心とした 21 府県から SFTS 患者が報告されています。青森県ではこれまで SFTS 患者の発生は確認されていません。

また、ヒトが SFTS を発症し死亡した事例の中に、体調不良のネコに咬まれていた事例が確認されました。そのネコに咬まれたことが直接の原因かどうかは明らかではありませんが、SFTS を含めた動物由来感染症の感染を防ぐためにも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いは控え、野生動物との接触は避けてください (図)。また、動物に触ったら必ず手洗い等をお願いします。



図 マダニの生息場所  
出典：国立感染症研究所

○SFTS の予防やマダニに咬まれたときの対処法等については  
こちらをご覧ください [重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\) に関する Q&A \(厚生労働省 HP\)](#)

### III 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市 2 人、弘前 1 人 (2017 年計:191 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市 1 人、弘前 1 人 (2017 年計:19 人)
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：五所川原 1 人 (2017 年計:47 人)

### IV 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。 下気道炎患者（鼻汁、7/21）・・・hRS ウイルス A：八戸市 2 人

### V 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2017 年第 29 週～2017 年第 32 週)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
29	H29.7.17 ~ H29.7.23		腸管出血性大腸菌 感染症1人 水痘(入院例)1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人	
30	H29.7.24 ~ H29.7.30	レジオネラ症1人	梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症4人 つつが虫病1人		腸管出血性大腸菌 感染症2人	
31	H29.7.31 ~ H29.8.6	E型肝炎1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人			
32	H29.8.7 ~ H29.8.13	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		梅毒1人		

### VI 結核(二類全数把握対象疾患) (2017 年第 29 週～2017 年第 32 週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
29	H29.7.17 ~ H29.7.23	3	2			1	
30	H29.7.24 ~ H29.7.30	1	3	1			
31	H29.7.31 ~ H29.8.6	1	5	3	2	2	
32	H29.8.7 ~ H29.8.13	2	1				

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国 （2017年第31週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	13296	5	92	1420	22	9	205	184	19	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	2	1	2	64	1	2	102	116	145	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	3	27	12	1	903	9	651	172	903	439

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	7	117	341	824	37	236	16	2164	187	3252

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	81	68	54	54	169	14

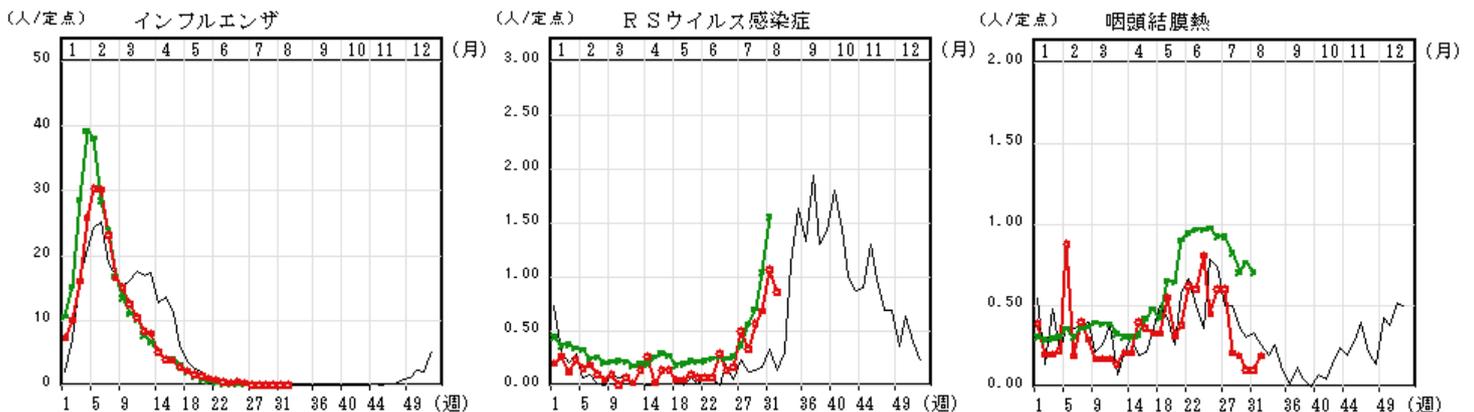
青森県 （2017年第32週までの累計）

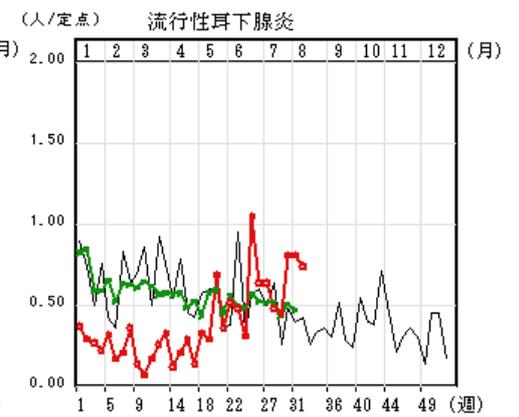
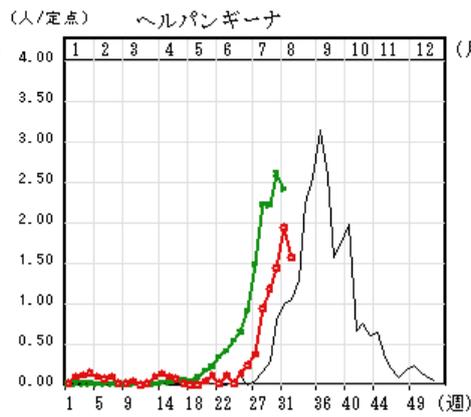
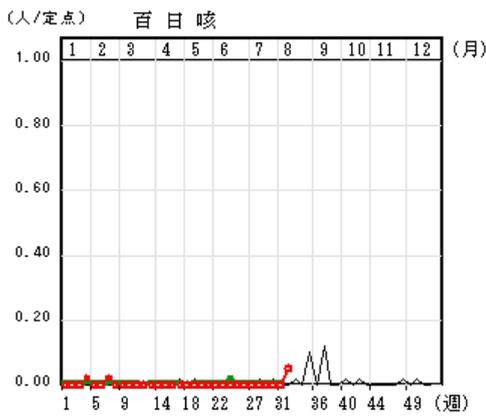
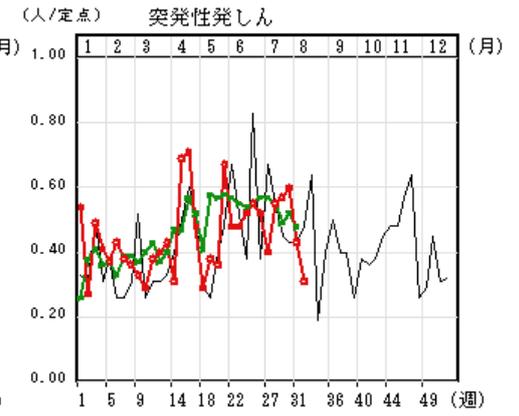
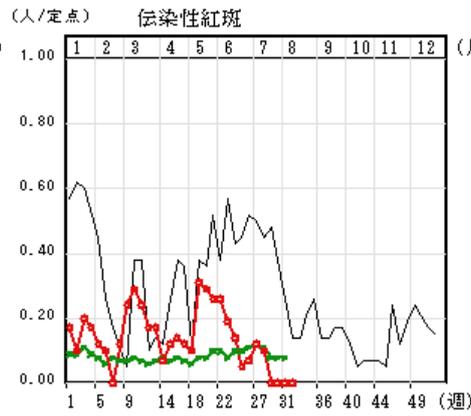
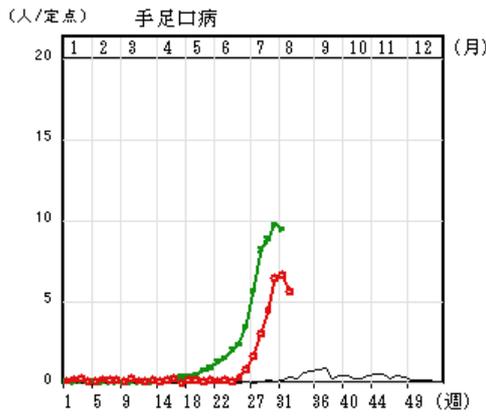
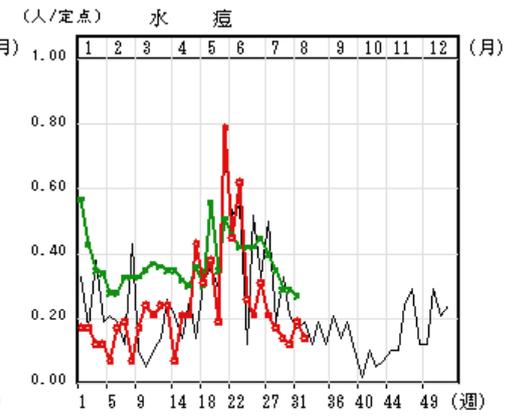
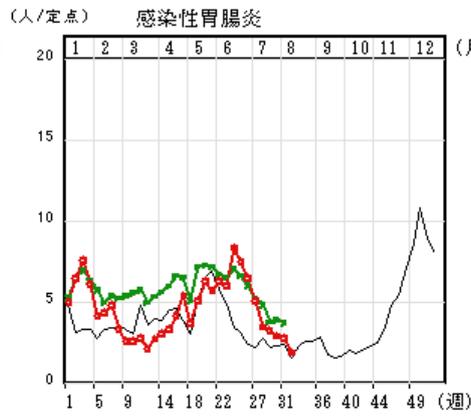
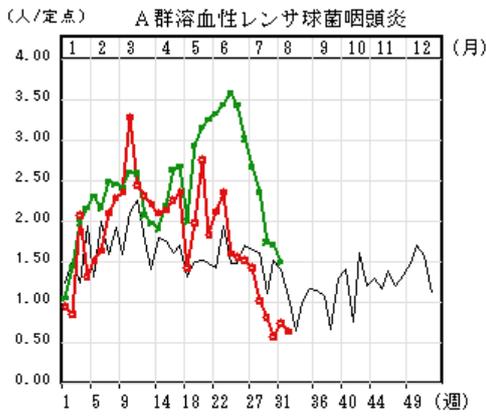
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	191	19	6	2	10	7	3	11	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	5	1	8	1	47

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第32週、ただし全国は前週）

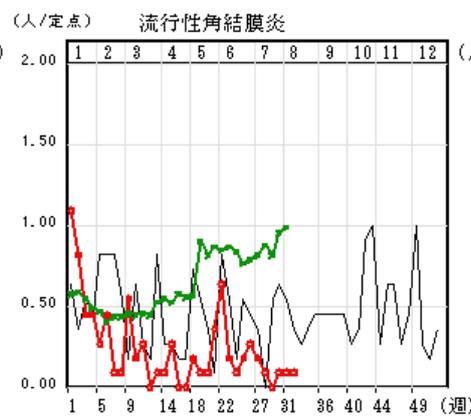
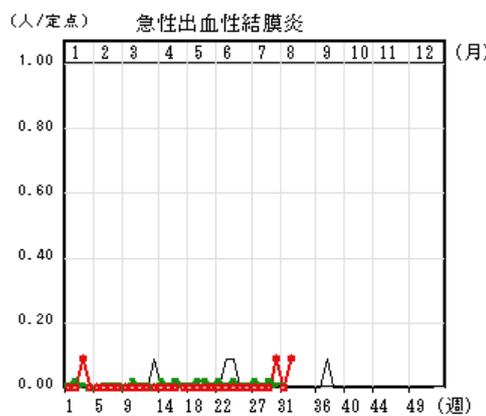
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×——×は2017年全国





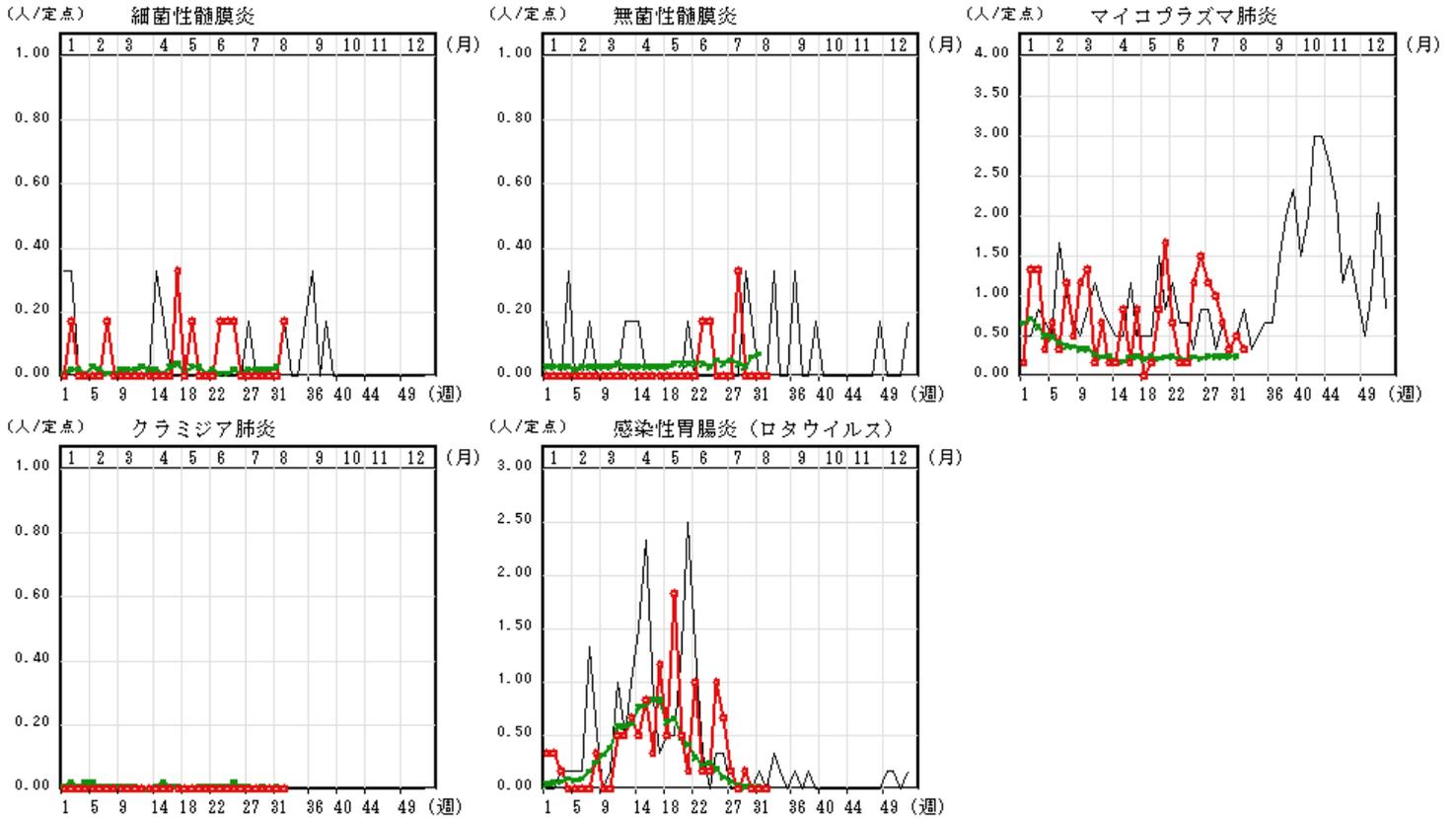
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第32週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第32週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第32週  
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31週 32週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	6
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	9
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	212